

農業経営の発展のための規制改革要望（骨子）

～プロ農業者の目線から～

1. 多様化する農業法人での雇用労働への対応

- 6次産業化に取り組む農業法人等における雇用労働に対応した労働基準法上の取扱いの明確化
6次産業化への取組が進むことに伴い、農業法人等の従業員が製造・加工や販売等に携わる機会が増えていることから、農業に従事しつつ製造・加工・販売等にも従事する従業員の労働基準法上の取扱いについて明確にしたガイドライン等の作成を求める。

2. 有能な外国人技能実習生の更なる技能向上

- 有能な外国人技能実習生がより高度な技能実習を延長して行うことを可能とする制度の見直し及び技能評価の透明性向上
外国人技能実習生に関して、3年間の実習期間が終了し、JITCO認定評価専門級（上位級）等を取得するなど一定以上の技能を身につけた技能実習生が、更により高度な技能を幅広く修得できる技能実習の延長（2年間）を可能とするよう制度の見直しを求める。
技能実習の延長に当たっては、実習終了時の修得技能等の評価手法について、幅広い技能を適正に評価できるような透明性向上を求める。

3. 食品衛生管理者の資格取得の円滑化

- 食品衛生管理者の資格取得のための資格認定講習会の開催頻度・開催地の増加
6次産業化を進める上で、農業法人等が食品衛生管理者の有資格者を必要とするケースが増えているが、当該資格取得のために参加が必要な資格認定講習会が現在は年に1回程度、都市部で開催されるのみであるため、講習会の開催頻度及び開催地の増加を求める。

4. その他規制等のあり方について検討が必要な事項

- トラクター等の農業用機械の公道走行に係る道路交通関連の規制・制度のあり方
- 新商品開発を促進するための乳製品等に係る容器包装規格の見直し
- 農業法人と実需者との公正取引の確保のための監視強化及びガイドライン作成
- 市街化調整区域における農産物直売所の設置基準の緩和